

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	5	相互研修を実施され他ホームのケアの様子から実践の向上に取り組まれてはどうでしょう。	他施設の取り組みを学び、ケアの工夫ができるようになる。	研修の機会を通して、介護職員も他施設の取り組みを知る機会を設け、ケアの工夫ができるようにします。 (事例検討会や事例発表会への参加や他施設の見学)	6ヶ月
10	6	かんの里通信や日々の様子、また緊急連絡に電子メールを活用されることも検討されても良いと思います。	幅広く意見が出せる取り組みを行う。	例示されているように電子メールを活用したり、法人HPを使って問い合わせができるようにする。	10ヶ月
11	7	相互研修を実施する等、他ホームの運営の様子を学ぶ機会を持たれても良いかもしれません。	他施設の取り組みを学び、ケアの工夫ができるようになる。	毎年度実施している“かんの里研究発表会”を開催する。 本年度と同様に他施設から講師を招き意見を頂く。	12ヶ月
23	9	利用者の生きがいや生きる目的を把握されると良いと思います。	ご本人の入居前の関係性の回復に努める。	ケアプランに入居前の生活との繋がりをもたせ、実践を行う。 施設内にこだわらず、ご本人の地域に出かけていく。 家族との協力のもと実施する。	12ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。